

◆「ドクターG」の中医版＝「中医総合診療研究会」がスタート (＋今年後半の予定のお知らせ)

第2回日本中医学会主催「中医総合診療研究会」は、6月18日、12名の参加者を得て順調なスタートを切った。

本研究会は、趣意書(<http://www.jtcma.org/activities/img/sougoushinryou01.pdf>)のとおり、臨床能力を向上させるために設けられた新スタイルの実践的症例カンファレンスである。「臨床推論方式」という。いまNHK番組の「ドクターG」が医療界の質を変える企画として注目されているが、検査機器を使用しないで問診だけで疾病の本質を探る方式は、本来中医学が最も得意とする方法である。

本症例検討会は、従来方式とは異なっている。従来方式の症例検討は最初から患者情報の全体像が提示されて、それをもとに参加者が弁証論治を推論してゆくが、本方式では、患者情報を知っているのは症例提示者だけで、参加者は初めて対面する患者を相手にするという方式をとる。臨場感ある仕掛けになっている。症例提示者はパワーポイント上で問診の進行に従って患者情報を加筆してゆく。その情報をもとに、参加者は2グループに分かれて次の一手を討論しながら、ポイントを定めて問診をしてゆき、徐々に核心に迫ってゆく。そのプロセスは緊張感とスリルに満ちており、あたかも臨床道場の趣きを醸し出す。臨床思考が大いに鍛えられる。このような訓練を重ねてゆけば、間違いなく実践能力が付いてゆくだろう。

第2回研究会で討論された症例は、「疲れやすい49歳の女性」。

「201X年8月末頃からなんとなく疲れやすさを感じていた。10月末になってから易疲労感が増悪している。急に始まったというよりは、気がついたら徐々にひどくなっていると感じる。」から始まる。

前半は西洋医学的な臨床推論であり、後半は中医学の弁証論治の討論になる。

◆今年後半の研究会スケジュール

6月18日(基本的に第3木曜、※は第4木曜)

7月23日※

8月20日

9月17日

10月15日

11月26日※

12月17日

時間:午後7時～10時

場所:アキュサリユート高輪、東京都港区高輪 4-8-23 エスパシオ高輪 102号 瀬尾港二

jtcmasogosinryo@gmail.com